

■日本NGO支援無償資金協力事業

加藤伸也専門委員が事業確認のため訪印しました。(2005.11.19~11.28)

9月24日~10月2日に続き、今回2回目の現地調査を実施しました。

1. X-Ray 現像機

Sweetyが現像する現場に立ち会い、稼働中を確認した。導入前は暗闇の中で、床に座って定着液、現像液等操作を行っていた。導入後は、暗闇は変わらないが大変簡便になり、楽になった、と言っていた。



2. 検査分析機

検査は既に技師により、稼働していた。下記はその実績である。試薬は6項目分を保持している。



	項目名	10月(第1回)	11月(21日まで)
分析機による項目	Glucose	39	24
	Creatinine	4	2
	Bilirubin	11	3
	Uric acid	4	1
	T-Protein	-	-
	Albumin	-	-
分析機によらない項目	Hemoglobin	41	7
	Smear	69	38
	Urine	13	9

3. 発電器

業者によるセットアップ、動作確認、取扱説明をした。Dr. グプタが27日-12/8日まで院内にいますので、古い物の回路、ホンダ発電機の回路を決め、機能分担する予定になっている。回路とは、現発電機と接続している電気配線回路を言う。



発電機と電球による動作確認の様子